

「医療機関同士の入院調整について」県の説明に関するアンケート回答状況

2022/11/1時点 神奈川県病院協会とりまとめ

地区病院協会	医療圏	①県（市）の説明日	② 医療機関同士の入院調整について、現時点で地区の議論があるようでしたら、記載してください。	③ 説明を受けて、どのように取り組む予定でしょうか。	④ 課題などがありましたら、ご記載ください。
横浜市病院協会	横浜	連絡なし (10月21日時点)	特になし		
川崎市病院協会	川崎南部	連絡なし (10月27日時点)	特になし		
相模原市病院協会	相模原	10月26日(水)	<p>神奈川モデルが機能不全となった場合、医療機関間で入院調整は難しい。 そのため、相模原市に対し入院調整等のコントロール機能を持った「支援拠点」の設置を要望している。</p>	<p>市保健所、医師会、病院協会三者で話し合い、詰めていく。</p>	<p>【病診連携について】 ○病診連携の視点から、クリニック医師が入院を要すると判断した際の調整をどうするか。</p> <p>【個別調整について】 ○これまで県が入院調整の全体をコントロールする中、市保健所が病院との間に入り調整等の役割を担っていただいた。病院間の個別調整となると、他の病院の状況や全体感がみえにくく調整しにくい。</p> <p>【入院調整システムについて】 ○システムを県が一元管理するのではなく、市が情報を集約し運用の主体となった方が良いのではないか。</p>
三浦半島病院会	横須賀・三浦	11月16日(水)	特になし		
鎌倉市医師会病院会	鎌倉市	11月17日(木) で調整中	<p>特になし (一部直接の連携は開始している)</p>		
湘南病院協会	湘南東部	11月8日(火)	特になし		
湘南西部病院協会	湘南西部	11月7日(月)	特になし		

「医療機関同士の入院調整について」県の説明に関するアンケート回答状況

2022/11/1時点 神奈川県病院協会とりまとめ

地区病院協会	医療圏	①県(市)の説明日	② 医療機関同士の入院調整について、現時点で地区の議論があるようでしたら、記載してください。	③ 説明を受けて、どのように取り組む予定でしょうか。	④ 課題などがありましたら、ご記載ください。
厚木病院協会		11月30日(水)	特になし		
大和高座病院協会	県央	10月26日(水)	無し(会長の私見として、各医療機関の受入れ可否、対応可能人数が随時確認できるようなシステムが必要で、医療機関間で調整をすることによってリアルタイム性が損なわれて必要な情報が得られないと感染拡大時に機能しないのではないかと意見あり)	今回の件は病院協会内での検討も必要になると思うが、むしろ、それ以外の保健所、医師会の理解や関わりが重要と考えること、実施単位が病院協会病院加盟施設が属する広域単位となるのか、各市単位になるのかが不明であるが、座間・綾瀬・海老名・大和と複数市に及ぶことから、各市間で相互連携をとれる体制の構築なども含めて、各地域の医療機関をとりまとめる医師会や保健所に、体制構築・運用方法策定の中心的役割を期待せざるを得ないと思われる。	大和市内や県央地域で陽性患者受入れを表明している医療機関は以前から少ない状況がある。 周辺医療圏に陽性患者が流出していることが地域の課題として挙げられている中で、このようなシステムを診療所も含めて連携を図ることになれば、診療所で陽性が判明した患者が受入れ医療機関に集中することにより、当該医療機関の医療逼迫を助長しかねない事態になると想定される。 コロナ陽性患者の受入れ可能施設を増やすとともに、各診療所でコロナ患者の診療をしっかりと行なうこと。 重症度・入院加療の必要性を明確にするための基準に沿った判定によって、入院が必要な患者のみ、当該システムを用いて転院させる流れを地域に周知する必要があると考える。
小田原医師会病院会	県西	調整中 (11月1日時点)	病院の機能、対応方針が異なるので、調整は難しいのでは？		
足柄上病院会		調整中 (11月1日時点)	特になし		